

おおつ環境フォーラム ホームページ

<http://eco-otsu.net>

大津市地球温暖化防止活動推進センター ホームページ

<http://otsu.ondanka.net>

大津のかんきょう宝箱（大津市ホームページ）

<http://www5.city.otsu.shiga.jp/kankyau/top.asp>

## 新しいエネルギー社会の実現に向けて

滋賀県県民生活部エネルギー政策課 主任主事 竹村 直樹

### 「しがエネルギービジョン」の策定

県では、東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故を契機としたエネルギーを取り巻く社会情勢の変化（時代の潮流）に的確に対応しながら、今後、原発に依存しない新しいエネルギー社会をできる限り早く実現していくことが求められていることから、長期的、総合的かつ計画的なエネルギー政策を推進していくための指針として、『しがエネルギービジョン』を2016年3月に策定しました。

このビジョンでは、「原発に依存しない新しいエネルギー社会の実現に向けて～地域主導によるエネルギーシフトに向けたローカル・イノベーション～」を基本理念として掲げ、原発に依存せず、「災害等のリスクに強い安全・安心な社会」、「低炭素な社会」、「地域内経済循環による地方創生」をも同時に満たす、持続可能な新しいエネルギー社会を創造していくこととしています。

この基本理念のもと、エネルギーを「減らす」、「創る」、「賢く使う」、これら3つの取組を「支える」取組を皆さんと共に進め、現世代はもとより、将来世代も持続的に実感できる「新しい豊かさ」をエネルギーの分野から実現していきます。

#### 基本理念

『原発に依存しない新しいエネルギー社会の実現に向けて』  
～地域主導によるエネルギーシフトに向けたローカル・イノベーション～

- 隣接する若狭地域に原発が集中立地
- 県民、琵琶湖、山林を預かる本県
- 既設原発の老朽化に伴う廃炉も想定

- 東日本大震災に伴うエネルギー問題
- 地球温暖化の進行
- 人口減少社会の到来

現世代はもとより、将来世代も持続的に実感できる「新しい豊かさ」をエネルギーの分野から実現

#### 原発に依存しない新しいエネルギー社会



#### 目次

- 1・・・ 新しいエネルギー社会の実現に向けて
- 3・・・ おおつ市民環境塾 2017 が始まりました
- 3・・・ 平成 29 年度総会を開催します
- 4・・・ プロジェクト等の活動報告と活動予定

滋賀県県民生活部エネルギー政策課主任主事 竹村直樹

これからのフォーラム活動 編集後記

## 地域から広がる「新しいエネルギー社会」づくり

持続可能な新しいエネルギー社会の実現に向けては、県民や事業者の皆さんがエネルギーに関心を持ち、県民総ぐるみで省エネルギー・節電や再生可能エネルギーの導入などの取組を推進していくことが重要です。大津市内で取り組まれている事例を中心に、いくつかご紹介いたします。

### ■エネルギーを「減らす」(省エネルギー・節電の推進)

大津市地球温暖化防止活動推進センター(指定団体:特定非営利活動法人おおつ環境フォーラム)は、市民・事業者向けに省エネ診断やセミナーを開催し、エネルギー・地球温暖化問題に関する普及啓発に取り組んでいます。

フレンドマート瀬田川店では、太陽光を利用した店舗照明(スカイライトチューブ(株式会社井之商))や発電システム(屋上・壁面)を設置するとともに、店内の電気量を見える化し、温度や運転状況に応じて自動でコントロールするなど、省エネと環境に配慮した店づくりを進めています。

### ■エネルギーを「創る」(再生可能エネルギーの導入促進)

大津市における固定価格買取制度(FIT)開始以降の再生可能エネルギー発電設備の導入容量は2016年11月末時点で約5.4万kWと、県全体(約50万kW)の約10%を占めています。なお、設備認定を受けた容量(認定容量)は約9.6万kWとなっており、特に事業用太陽光発電を中心に、さらなる導入拡大が見込まれています。

こうした中、株式会社金山精機製作所滋賀工場では、外気温に比べて温度変化が少ない地中熱を利用した空調システムを導入し、工場内の24時間一定温度管理と使用電力量の削減を実現しています。

また、大津市企業局水再生センターでは、大津市、積水化学工業株式会社、関西電力株式会社が下水処理場内の消毒槽で処理する過程の下水に着目し、その熱を空調に利用する全国で初めての実証実験を2016年11月より行っています。

現在進められている、大津市ごみ処理施設の建て替えにあたっては、焼却熱を利用する発電設備の新たな設置が計画されています。廃棄物の適正処理だけでなく、地域のエネルギー供給(発電)施設としての役割も大いに期待するところです。

一方で、市民や地域からの出資・寄付による市民共同発電の取組については、県内28か所のうち、大津市内では「市民共同発電所を作る会・おおつ」が大津あいあい保育園の屋上に設置した1か所に留まっています。今後は、地域の様々な主体によるエネルギー自治の推進や地域の活性化を図るため、エネルギー関連プロジェクトを主導するリーダーやコーディネーターの育成などの取組が重要です。

[次ページ下段へ続く](#)

### 基本方針(重点政策の方向性) ~4つの柱~

#### ● エネルギーを「減らす」

省エネ行動の実践や、省エネ性能が高い機器の使用、住宅や建物の省エネルギー性能を高めるなど、省エネルギー・節電を推進

#### ● エネルギーを「創る」

太陽光、小水力、バイオマスなど再生可能エネルギーを家庭や事業所、地域等で導入促進

#### ● エネルギーを「賢く使う」

天然ガスコージェネレーションや蓄電池の普及、地域内でエネルギーを融通するスマートコミュニティの構築など、エネルギーの効率的な活用を推進

#### ● 3つの取組を「支える」

本県に集積するエネルギー関連産業の振興や、産学官によるエネルギー関連の技術開発を促進



### 8つの「重点プロジェクト」

基本方針(4つの柱)	8つの重点プロジェクト
● エネルギーを「減らす」 《省エネルギー・節電の推進》	(1) 省エネルギー・節電推進プロジェクト ・省エネ型ライフスタイル、省エネ機器使用等
● エネルギーを「創る」 《再生可能エネルギーの導入促進》	(2) 再生可能エネルギー総合推進プロジェクト ・太陽光発電、再生可能エネルギー熱
	(3) 小水力利用促進プロジェクト ・農山村地域における小水力発電等
	(4) バイオマス利用促進プロジェクト ・木質バイオマスや廃棄物のエネルギー利用
	(5) エネルギー自治推進プロジェクト ・地域での取組推進、災害対応強化
● エネルギーを「賢く使う」 《エネルギーの効率的な活用の推進》	(6) エネルギー高度利用推進プロジェクト ・天然ガスコージェネ・燃料電池、次世代自動車
	(7) スマートコミュニティ推進プロジェクト ・地域の実状に応じたスマートコミュニティ構築
● 3つの取組を「支える」 《エネルギー関連産業の振興、技術開発の促進》	(8) 産業振興・技術開発促進プロジェクト ・産学官連携によるエネ関連技術開発等

## ◇おおつ市民環境塾2017が始まりました

今年度もおおつ市民環境塾が始まりました。その幕開けとなったのは4月22日に開催された「自然観察と野草料理体験」講座です。

日吉中学校正門前に集まった21名は、野草の説明を聞いた後、周辺の野原を観察しながら散策し、食べられる野草を採取しました。1時間ほどで日吉中学校に戻り、次は「ヤブカンゾウと鶏肉の炊き合わせ」など野草料理の実演の見学です。実演の後は試食です。各自が持参したおにぎりと、スタッフが用意した幾種類もの野草料理もあわせ豪華？なランチとなりました。

市民環境塾は、8月5日までの間にまち歩きや講演会、見学会など計6講座開催されます。是非お申し込みください。詳細は、おおつ環境フォーラムのホームページ <http://eco-otsu.net/> をご覧ください。



### 平成29年度 総会を開催 します

6月10日(土)13:00から明日都浜大津ふれあいプラザにて、おおつ環境フォーラム平成29年度第1回総会を開催します。主な審議事項は平成28年度事業報告と決算の承認です。  
・会員の皆様は是非ご出席ください。欠席の場合は必ず委任状の提出をお願いします。  
・総会后15:00から講演「自然を生かした暮らしとは何か」が開催されます。

### ■エネルギーを「賢く使う」(エネルギーの効率的な活用の推進)

エネルギーを効率的に活用するためには、家庭や事業所単位ではなく、一定規模のコミュニティの中でエネルギーを相互に融通しながら、エネルギー需給を総合的に管理することが求められます。また、コージェネレーションや蓄電池の導入促進、エネルギー需給調整の新たな役割が期待される電気自動車等の次世代自動車の普及とこれを活用したまちづくり、更には次世代エネルギーとして期待される水素エネルギーの利活用など、新しい技術や多様なエネルギー源を利用しながら、高効率なエネルギー社会を実現していくことも重要です。

### ■3つの取組を「支える」(エネルギー関連産業の振興・技術開発の促進)

上記のエネルギーを「減らす」、「創る」、「賢く使う」取組を推進していくためには、これらを産業・技術面から「支える」エネルギー関連産業の振興と産学官連携による技術開発を促進していくことも重要です。県内大学等有する知見と企業が有する技術による共同研究や省エネ・創エネ分野における実践技術者の育成など、本県に集積するエネルギー関連産業の強みを最大限に活かし、これを伸ばしていくことで、滋賀発のエネルギーイノベーションを創出していくことが期待されます。

### おわりに

本県には、自分たちの地域は自分たちの手でつくるという住民自治の精神、自然環境や次世代のことも考える県民風土、未来を創造する技術やノウハウといった強みがあります。これらの強みを活かしながら、持続可能な「新しいエネルギー社会」を実現していくことが求められます。

そのためには、県民や事業者の皆さんがエネルギー問題を「自分ごと」として捉え、それぞれの立場で主体的に取り組んでいただくことが重要であり、県としても市町と連携しながら、今後も地域が主体となった取組を応援していきたいと考えています。

最後に、県では、こうした取組事例やエネルギー政策について、県ホームページをはじめ、様々な広報媒体を活用しながら、広く情報発信しています。是非ご覧ください。

### エネルギー関連の県広報番組

#### テレビ滋賀プラス+1(※これまでの放送分)

- 平成25年12月21日放送  
テーマ『地域主導によるエネルギーシフト ～再生可能エネルギーって?～』
- 平成26年5月24日放送  
テーマ『「買う」から「創る」時代へ 再生可能エネルギー』
- 平成27年10月10日放送  
テーマ『新しいエネルギー社会づくり』
- 平成28年12月17日放送  
テーマ『地域から広がる「新しいエネルギー社会」づくり』



土曜日 お昼12:00~12:20  
日曜日 朝8:30~8:50(再)

県政の課題や滋賀県が進める重要施策、事業を、レポーターが現場での取材に基づき、分かりやすくお伝えします。また、地域の魅力や今輝いている人など、滋賀の素晴らしさを伝えます。

※インターネットTVしが(YouTube)で配信中! → 滋賀県エネルギー政策課のHPにアクセスし、いつでも、どなたでも視聴可能です!

## ■プロジェクト等の活動報告と活動予定

### 《子どもが遊べる川づくりプロジェクト》

今年度は「小学校の総合的学習の支援」「市内河川の生きもの調査」「環境塾等イベントへの積極参加」を柱に活動します。

### 《生ごみリサイクルプロジェクト》

今年度は「EMボカシづくり・プリン石鹸づくり活動」「市民農園の充実」等を柱に活動します。

4月15日、膳所池ノ内市民農園の害獣侵入防止用ネットを緊急張り替え補修しました。



### 《ビオトープづくりプロジェクト》

4月16日に北大路どろんこ一ふで池の補修活動を行いました。シカやイノシシの足跡がたくさん見られました。池の畦が低くなっている箇所があり、そこを中心に畦を高くしました。

### 《里山保全プロジェクト》

今年度の「山の日」は比叡平で実施します。また、春日山公園では、新たにササユリの植栽とコメづくりに取り組みます。

### 《エコライフデー運営支援チーム》

今年度は回収率向上を図るため、実施自治会対象に事前説明を行い、チェックシートもエコライフデー実施の背景や意義の説明を充実させます。

## ■これからのフォーラム活動

プロジェクト等の名称	日時	場所・内容
プロジェクト・学習研究グループ		
子どもが遊べる川づくり	5月 2日(火) 9:30	三田川下流//晴嵐小学校の総合的学習の支援
	5月 9日(火) 9:00	三田川中流//晴嵐小学校の総合的学習の支援
	5月 17日(水) 9:30	三田川上流//晴嵐小学校の総合的学習の支援
生ごみリサイクル	6月 3日(土) 9:30	ウォーターステーション琵琶//田んぼの生きもの観察会
	6月 16日(金) 9:30	市民活動センター//EMぼかしづくり
菜の花	5月 27日(土) 10:00	雄琴菜の花畑//菜種油を作ろう
ビオトープづくり	5月 21日(日) 9:00	春日山ビオトープ//生き物調査・もんどり設置実験
里山保全	5月 14日(日) 10:00	春日山公園//仰木の里公民館子どもの居場所づくり活動
	5月 14日(日) 12:45	春日山公園//定例活動、会議
エネルギー	5月 9日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
いきいき河川	5月 28日(日) 9:30	大津市民活動センター//琵琶湖の漁業体験
フォーカスグループ	5月 20日(土) 13:00	京阪坂本駅集合//おおつ市民環境塾講座 2
委員会・実行チーム・事業部		
理事会	5月 17日(水) 13:00	ふれあいプラザ//理事会
おおつエコフェスタ実行チーム	5月 1日(月) 13:30	大津市センター//会議
おおつ市民環境塾実行チーム	6月 10日(土) 15:00	ふれあいプラザ//おおつ市民環境塾講座 3
	6月 15日(木) 10:00	大津市センター//会議
自然家族事業南部版実行チーム	5月 8日(月) 10:00	大將軍畑//「里の日」準備
	5月 13日(土) 10:00	大將軍畑//「里の日」①(予備日5月14日)
事業部 KES 普及推進グループ	5月 25日(木) 14:00	生涯学習センター//審査員グループ会議

\* 次回の活動報告・活動予定原稿の締切り ; 5月 24日

\* センター事務所 ; 大津市地球温暖化防止活動推進センター

**《編集後記》** 今年、県内の桜は、北も南も一斉に咲いて足早に散ってしまった。例年だと、石山寺、三井寺の後に豊公園、海津大崎と続き、順々に花見が楽しめるのだが、こう気温の上下が激しいと桜も例年通りとはいかなかったようだ。鹿児島では東京より大幅に開花が遅かったそう。これは寒い期間が十分になく、開花スイッチが入らなかったためらしい。温暖化の影響がこんなところにも出てきている。あちこちで桜の植樹が盛んだが、成木になるころに「花の咲かない桜並木」なんてことにならなければよいが。(K.N.)

特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム  
 (大津市地球温暖化防止活動推進センター)  
 〒520-0047 大津市浜大津4-1-1 明日都浜大津4F  
 Tel : 077-526-7545 Fax : 077-526-7581  
 E-mail : forum@eco-otsu.net  
 HP : http://eco-otsu.net  
 編集責任 : 中井 正子